

ずいそう

阪神タイガースを追いかけて、野球場のある街へ

伊藤 健一



私は関西出身、関東在住の阪神ファンです。

最近の楽しみは、交流戦を含め、全国各地の野球場で現地観戦すること、そして、そのついでにその街の観光（城めぐり、美術館めぐりなど）やその土地のおいしいものを食べることです。転勤が多い職場なので、札幌から福岡まで友人知人がいます。休日に、一緒に観戦したり、そのあと飲みに行ったり、楽しみは倍増です。

複数回訪れた球場もたくさんあるため、年代は順不同で、北から順番に思い出を振り返ってみます。

まずは、2022年まで日本ハムの本拠地だった札幌ドーム。初めて札幌ドームで観戦したのは2016年のセ・パ交流戦でした。当時、日本ハムに在籍していた大谷翔平選手は阪神打線を相手に163 km/hを5球、160 km/h超は合計31球も投げ、阪神は3塁を踏めず完封負け。完敗とはいえ、いいものを見せてもらいました。

試合後はさっさと飲みに行こう、と向かった先は市内の中島公園にあった麒麟ビール園（現在は閉店）。天井の高い大空間のレストランで、ジンギスカンと生ビールと大谷選手の話で盛り上がりました。

札幌遠征時は、試合の合間に大通り公園や大倉山ジャンプ台などを散策しました。これらの観光地では、黄色いユニフォーム姿の阪神ファンがウロウロしています。

2023年、日本ハムは本拠地を北広島市のエスコンフィールド HOKKAIDO に移しました。早速、この年の交流戦を観に行きましたが、斬新なスタジアムですね。

レフトスタンドの上に天然温泉があり、サウナに入りながらグラウンドを見下ろすことができました。球場内で醸造している地ビール「そらとしば」も美味です。

続いて、仙台市の宮城球場（現・楽天モバイルパーク宮城）。敷地内に、球場全体を上から見渡せる観覧車があります。家内と二人で乗ってきました。

仙台に来たからには、もちろん牛タンを堪能。試合前に青葉城や宮城県美術館に行ってみると、ここにも黄色いユニフォームを着た人達が何人かいました。

関東地方における阪神のセ・パ交流戦は、西武ドームと千葉マリンスタジアムで、毎年交互に行われます。

西武ドーム（現・ベルーナドーム）に来ると、いつも球場内の沖縄料理店「リトル沖縄」でソーキそばやタコライスを買って食べます。もちろんオリオンビールも。

この球場で一番の思い出は、佐藤輝明選手がルーキーの年に撃った1試合3本のホームランです。

幕張にある千葉マリンスタジアム（現・ZOZOマリンスタジアム）では、いつもロッテ応援団の統率の取れた全員ジャンプと大音量の声援に感心しています。

各地の二軍の球場も、それぞれ趣きがあって楽しいですね。阪神はウエスタンリーグ所属ですが、ときどき関東地方でイースタンリーグとの交流戦が行われます。

日本ハムの鎌ヶ谷スタジアムは、掛布二軍監督の時代に観に行きました。背番号31 KAKEFUのユニフォームを着たオジサンたちがあっちにもこっちにも座っていました。二軍なのにビールの売り子さんがい



写真-1 エスコンフィールド

て感激。

ヤクルトの戸田球場は荒川の河川敷にあります。観客席が小さいため、あぶれた観客は荒川の堤防から無料で観戦しています。豪雨でよく水没するので、2027年に茨城県守谷市に移転するそうです。

読売ジャイアンツ球場は、京王よみうりランド駅から「巨人への道」という急な山道を登っていきます。二軍戦なのに一軍さながらの阪神応援団が練り出していました。2025年3月からは近くの新球場（ジャイアンツタウンスタジアム）に移転しました。

一軍の話に戻ります。関東地方在住の阪神ファンにとって、明治神宮野球場、東京ドーム、横浜スタジアムは、ビジターといえどもホーム球場みたいなものです。

神宮球場は、一番阪神ファンが多いビジター球場でしょう。「半分、黄色い」。神宮球場の外野席エリアは充実の場内グルメ、比較的安価でおいしい店がたくさんあります。また、夏休み期間中は、5回裏終了時にバックスクリーンの後ろで300発の花火が上がります。

冷房完備の東京ドームは、昨今の猛暑では大いに助かります。ただし、生ビールは日本一高い1杯900円。

ビジター球場では基本的にレフト外野席に座ることが多いのですが、横浜スタジアムにはいろいろなBOX席があり、一緒に行くメンバーによって座席を選択できます。バーベキューを食べながら観戦できる席、生ビール10リッター付のスカイバーカウンター6人席、幼児連れでも安心のアクリルフェンスで守られたBOX席など。

横浜スタジアムでは、球団オリジナル醸造の3種類の地ビール（ラガー、エール、ホワイト）を飲むことができます。ちょっと高級なクラフトビールです。

横浜スタジアムといえば、佐藤輝明選手の右翼場外へ消えていったホームラン、また現地で見たいですね。

地方球場でもたまに公式戦が開催されます。長野オリンピックスタジアムに広島阪神戦を観に行ったことがあります。ときどき雨で中断しながらの長い試合で、



写真—2 横浜スタジアムでバーベキュー

終わったのは日付が変わる直前の23:50でした。両チーム総力戦で結局引き分け。最後は阪神の野手が足りなくなると、代走に出てきたのはピッチャーの島本選手でした。

次は名古屋です。ナゴヤドーム（現・バンテリンドーム）は阪神にとって鬼門といわれています。確かに、現地に観に行っても本当によく負けます。

試合前に名古屋城に行ってみました。私は全国各地の襖絵や掛軸の「虎図」を鑑賞するのが趣味ですが、復元された本丸御殿では虎の襖絵を何枚も見ることができます。どの虎も勇猛そうです。名古屋でも頑張れ！猛虎！

一番大好きな球場である本拠地・阪神甲子園球場は、年間10試合くらい観に行きます。屋根付きの内野席もいいし、アルプスタンドも座席幅が1.5倍に広がり快適になりました。甲子園の売り子さんの生ビールはカップが大きいし、値段も安いのが嬉しいですね。

甲子園は爽やかな快晴のデーゲームが最高に素敵ですが、2017年10月、DeNAとのCSファーストステージは大雨。外野席で観戦しましたが、ポンチョを着けても全身ずぶ濡れ。靴の中までぐっしょり、最悪でした。

甲子園で高校野球開催中、阪神主催試合は京セラドーム大阪で行われます。京セラドームは雨天中止がなく、冷房も効いていますが、座席が古くて、前後の間隔も狭いので腰が痛くなります。早く改装してほしいです。

試合終了後は、勝っても負けても、JR大阪環状線大正駅周辺の沖縄料理屋街へ行くのが楽しみです。

さて、阪神の二軍球場は甲子園の少し南、鳴尾浜にありました。入場無料でのんびりとした球場でしたが、観客席が500席と極端に少ないため、2025年3月、



写真—3 甲子園球場ライトスタンド



写真—4 甲子園球場ラッキーセブンの応援（コロナ禍前 2019 年）：スタンド全周 360 度で飛ばされる壮観のジェット風船

尼崎市に移転しました。新しい二軍球場（日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎）にもぜひ行ってみたいと思います。

マツダ Zoom-Zoom スタジアムは、JR 広島駅のすぐ近くに 있습니다。入場後もグラウンドまわりを 1 周できる面白い構造です。ビジター応援席は三塁側内野席の上方にビジターパフォーマンス席として隔離されています。

広島といえばお好み焼き。阪神戦がある日は、市内のお好み焼屋は黄色いユニフォーム姿でいっぱいです。

原爆ドームに近い旧広島市民球場跡地はイベント広場になっています。何年か前まで旧ライトスタンドの一部が残っていましたが、現在は取り壊されたようです。

福岡ドーム（現・みずほ PayPay ドーム福岡）では、ソフトバンクが勝つとドームの天井で花火が点火されます。また、ドームの開閉式大屋根がゆっくりと開くこともあります。1 回の開閉に要する電気代は百万円とか。

福岡市の西方には、阪神から 2024 年度現役ドラフトで DeNA に移籍した浜地投手の実家、浜地酒造があります。蔵元では日本酒をたくさん試飲させていただきました。地ビールもおいしくて朝から飲みすぎました。

福岡城の中に、旧西鉄ライオンズの本拠地、平和台球場の跡地があります。現在は鴻臚館（飛鳥・奈良・平安時代の迎賓館みたいなもの）の遺跡が見つかり、発掘調査が続けられています。

最後にキャンプ地巡りです。阪神の春季キャンプは沖縄（一軍は宜野座、二軍は具志川）で行われます。

コロナ前の宜野座球場に行ったことがあります。選手と何度も至近距離ですれ違ったり、激励の会話をしたり、サインを書いてもらったり、異次元の経験でした。

そのころ、二軍の春季キャンプは高知県の安芸市で行われていました。高知市内に宿泊して、土佐くろしお鉄道 of 虎柄のディーゼルカーで安芸まで通いました。夜は高知市内の「ひろめ市場」でカツオのたたきを食べました。なんでこんなに旨いんでしょう。なお、現在、安芸では若手主体で 11 月に秋季キャンプが行われます。

野球観戦は、小雨が降る中での試合決行はよくありますが、たまに大雨で中止があります。ドーム球場でも台風で試合が中止になったり、地震で帰りの新幹線が止まったり、どうやって帰ろうかと悩む事態に遭遇することもあります。それでもこんな面白い趣味はないので、これからも野球観戦が続けられるように、家内安全と世界平和と阪神優勝を祈り続けていきたいと思っています。